

# NEW IM-10UA/BAは

- 小型軽量
- 設置作業の負担軽減
- TML-NETに対応
- ガイド管が小径

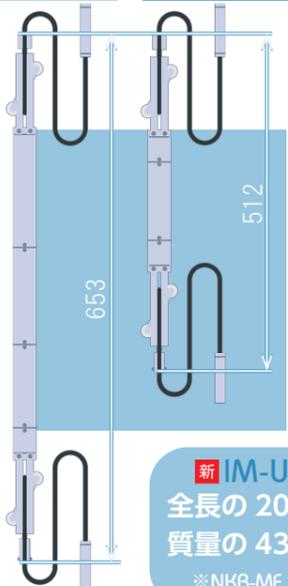


## こんな問題を解決します!

### 1 多段式傾斜計の運搬や保管に困っていませんか?

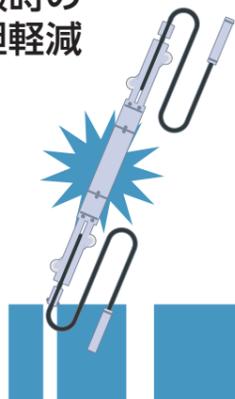
小型軽量

旧 NKB-MF 新 IM-UA/BA



新 IM-UA/BA  
全長の 20% 小型化  
質量の 43% 軽量化  
※NKB-MF との比較

運搬時の負担軽減



新 IM-UA/BA  
従来傾斜計の「運搬時の制約」を解消!  
・横倒しにできない  
・衝撃に弱い

旧 従来は背の高い縦型の箱で運搬をしていた  
⇒容積重量が大きい(運搬は1BOXカーなど)

新 IM-UA/BAは小型で横に寝かせてもOK  
⇒横置きで箱に収納が可能なので省スペースを実現(運搬はライトバンでOK)

### 2 多段式傾斜計を楽に自動化しませんか?

設置・計測時の手間・コスト、ケーブル劣化などメンテナンス費用の負担軽減

A: 挿入型傾斜計 旧

- ・センサ部が1点のみ。測定者がセンサ位置を移動・観測を行う。
- ・敷設は容易
- ・観測の自動化・無人化ができない。

長期計測の場合  
手間・人口工数の負担が増加

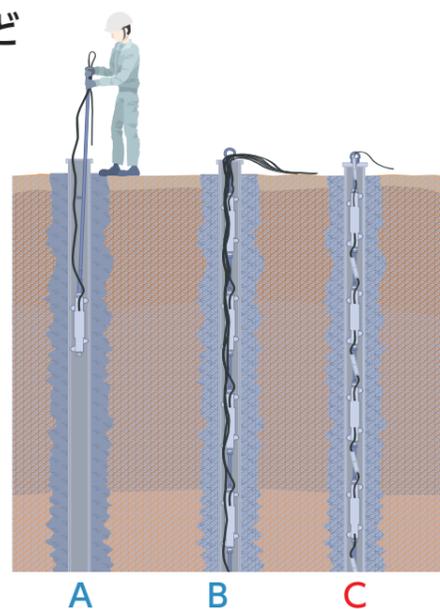
B: 多段式傾斜計 旧

- ・センサ部を等間隔に配置することが可能
- ・測定長全体を同時に測定できる
- ・観測の自動化・無人化が可能

設置時の手間・コスト  
メンテナンス費用が負担

C: ネットワーク対応型多段式傾斜計 新

- 長期観測の自動化・無人化が可能
- メンテナンスも容易
- 計測時のコスト大幅削減



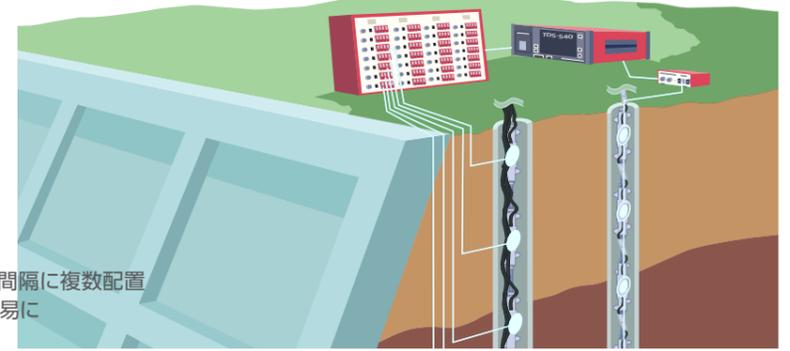
### 3 多段式傾斜計の設置はケーブルが多くて接続・配線が大変?

大幅な省配線化を実現

- ・配線経路・深度に合わせたケーブル長の調整が容易に
- ・環境の悪い現場でも容易に設置可能

ネットワーク型計測システム TML-NET

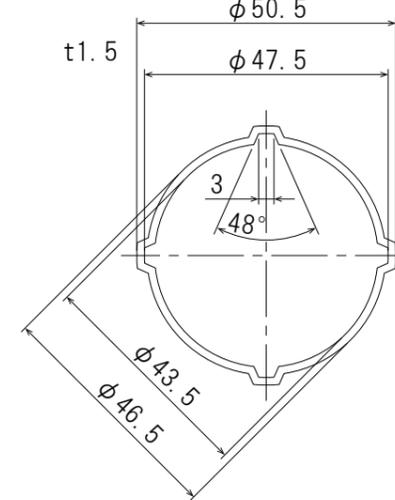
- ・鉛直方向の測定長に対し、センサ部を等間隔に複数配置
- ・各センサのケーブルを連結させ敷設を容易に
- ・デジタル伝送で耐ノイズ性が高い



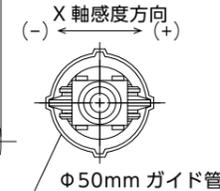
### 4 多段式傾斜計の台数が多くなるとガイド管が太くなる?

新 IM-UA/BAのガイド管

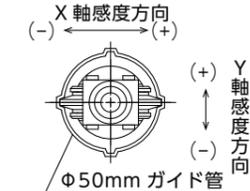
細径に対応! アルミガイド管 φ50mm IM-GP



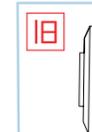
新 IM-10UA



新 IM-10BA



φ50mm ガイド管用ローラ



φ56, φ61mm アルミガイド管用ローラ

φ56

φ61

φ49

t1.5

φ56

φ49

t1.5

φ61

φ49

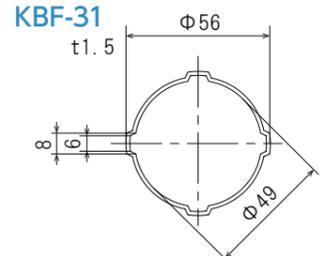
t4

φ61

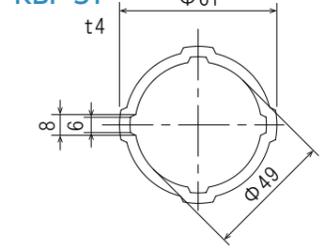
φ49

t4

アルミガイド管 φ56mm KBF-31



樹脂ガイド管 φ61mm KBF-51



### 5 さらに! 従来のTML-NET計測システムに対応

大幅な省配線化を実現、計測システムの拡張も容易なネットワーク型計測システム

- 結線・分岐が容易
- ケーブル延長による感度低下がない
- 絶縁抵抗の低下に影響されない
- スイッチボックスと併用も可能(TDS使用時)
- 省配線によりコストダウンが可能
- モジュール部は小型軽量のため設置が容易
- センサの近傍でデジタル処理されるためノイズに強い
- ネットワークモジュール総延長距離最大2km
- 各測定器間が絶縁されている
- ネットワーク型計測システムTML-NETは、分散配置、デジタル伝送で耐ノイズ性が高く、環境の悪い現場計測に活躍できます。また、工事の進展に合わせて測定点の追加・分岐が容易です。

